

第18回議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	平成29年2月3日（金） 午後6時30分 ～ 午後8時00分			会場	阿賀野市PTA連絡協議会			参加人数	16人
出席議員	雪 正文	風間 輝栄	村上 清彦	横井 基至	天野 美三男			※ 議会報告会終了後、1週間以内に議長へ提出願います。	
班長	雪 正文	司会	雪 正文	報告	雪 正文	記録	横井 基至	受付	天野 美三男
	質問・意見			回答		議会の対応方針			委員会等の対応協議結果等
1	少子化対策、子育て支援対策が分かりにくく、市に子育て支援をやってもらっている実感が全くない。			事業計画等上げているが市民の皆様のところまで届いていないのが現状。今までは子どもの安全第一に学校の耐震化工事にお金を掛けてきた。水原小学校のマイホームタウンプランは素晴らしい取り組みだ。		<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input checked="" type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要(不要)) <input type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)			
2	学校給食費無料化は子育て支援政策のPRに適しているのではないかと。議会として取り組んではどうか。			各議員活動の中で取り組んでいる状態。他の地域でもやっているところが少ないこと、給食費まで市が負担するということがいかなものかという声もあり、共通認識ができていない。		<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)			
3	阿賀野市の目玉政策を出してもらえないか。			給食費を無料化にすると約1億円の支出になる。財源の確保が大変厳しい状態。給食費無料化にすれば、ほかに削らなければならなくなるサービスがある。		<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)			
4	市外から子育て世帯を呼び込むために、阿賀野市の行っている少子化対策を外に発信するのはいかがか。			虹の架け橋住宅取得支援事業などがある。これらは国の地方創生資金から拠出しているが、今後国からもらえなくなった時どうするかという問題がある。		<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)			

	質問・意見	回答	議会の対応方針	委員会等の対応協議結果等
5	子育て支援策にいくら使っているのか。	社会保障費の1割弱と言われている。当初予算で新婚生活支援事業150万円、保育料の第三子無料化2,300万円、子ども医療費助成1億3,000万円、特定不妊治療費助成180万円、紙おむつプレゼント事業約400万円、子育て支援センター「にこにこ」運営事業約1,000万円などがある。	<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	
6	子育て支援の予算の割り振りを変えるだけでは新たな予算は確保できないということか。	3割自治で7割を国に依存している状態。阿賀野市は一人8万円税金を納めてもらい、市は一人に40万円くらい使っている。自主財源比率を上げれば使い道の自由度は上がる。生産労働人口を増やし自主財源を確保できればある程度自由に使うことができる。雇用の場を作り産業を元気にしていくことで税収を増やし自主財源比率を上げていく方法がある。産業建設常任委員会でも取り組み、現状分析、対策を行っていく。執行部と一丸となって予算獲得を目指す、一朝一夕にはいかないのが現状。	<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	
7	<p>・通学路の除雪など、子どもたちへの安全対策を見直してもらいたい。</p> <p>・国道・県道・市道によって除雪されているところとされていないところがある。山間部のほうが除雪が遅いのではないか。</p>	歩道除雪の優先順位は高い。歩道除雪が遅いのは歩道除雪機材台数の問題だと思うが、執行部に伝える。通学路の除雪は自治会とPTAとの話し合いが重要だと考える。除雪会議などで自治会長さんが通学路除雪について市当局にどのように伝えられているのか調査し、PTAの意見がどう反映されているか追跡調査していく。	<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input checked="" type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	
8	阿賀野市の利便性は良くはないので、全国と同じような政策では他市に勝てない。目玉政策を行ってほしい。	国の予算が減らされる中で、選択と集中をせざるを得なくなる時が来る。身の丈に合った行政運営をしなければならない。子育て支援に関するところはなるべく通している。	<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	

	質問・意見	回答	議会の対応方針	委員会等の対応協議結果等
9	【意見】婚活パーティー参加者が不足しているということで支援要請も来ているが、この少子化対策の問題は、どこから手を付けていっていいのかわからない。		<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	
10	京ヶ瀬では小・中合同で地域の方も参加して挨拶運動を行っている。所管の委員会や行政にも見てもらいたいとの意見がある。また、予算を掛けない中でも、お母さんたちが活発に活動できるようにしてもらいたい。	このような取り組みに対し、要望があれば、議員も一緒に喜んで汗を流させてもらいたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:総務文教) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	
11	阿賀野市PTA連絡協議会と議員との意見交換会は毎年続けていくべきではないか。	毎年やっていくつもり。今後も事あるごとに意見交換をし現実に近づけていきたい。	<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	
12	そもそもお金をたくさん子育て支援に出したからといって人口減少を止められないのではないか。	少子高齢化対策に対しては、選択と集中で事業を進め、一方では産業活性化に対しても予算を振り分けるべき。社会保障費の分野でも高齢者と子どもに対するお金の使い方を五分五分にしていれば子どもに対するサービスも充実できる。	<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	
13	お母さんたちが、阿賀野市面白いことをやっているなど注目するようなことをしてほしい。	色々と地域をまわり情報収集をしていく。逆にこの様なことをやって欲しいというのがあれば言ってもらいたい。	<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input checked="" type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	

	質問・意見	回答	議会の対応方針	委員会等の対応協議結果等
14	自治会と小学校の結びつき、地域の連携が薄くなってきている。小学校統合の際の新たな問題。また、必要な費用の予算付けをお願いしたい	学校、町内会、PTAが連携して協議したり、行事を行うことは良いこと。現在でも地域連携のための予算(各校3万円)はついている。	<input type="checkbox"/> 委員会で対応を協議(所管:) <input checked="" type="checkbox"/> 行政側に伝える(回答の要・不要) <input type="checkbox"/> 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 過去に出た意見と同じであり既に協議済 <input type="checkbox"/> 保留(事業等の現況や今後の展開等を受けての判断とする)	